

[法15条の2の3]

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿[焼却施設](平成28年10月度)

対象期間:平成28年 10月 1日～平成28年10月 31日

焼却した産業廃棄物の種類及び数量

種類	数量(単位)
産業廃棄物	
燃えがら	22.10 (トン /月)
汚泥(有機性)	87.92 (トン /月)
廃油	36.08 (トン /月)
廃プラスチック(軟質系)	332.12 (トン /月)
廃プラスチック(硬質系)	0.02 (トン /月)
汚れ廃プラスチック	27.55 (トン /月)
廃発泡スチロール	0.00 (トン /月)
紙くず	20.36 (トン /月)
木くず	97.26 (トン /月)
繊維くず	18.84 (トン /月)
動植物性残渣	38.87 (トン /月)
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	0.34 (トン /月)
廃酸	0.41 (トン /月)
特別管理産業廃棄物	
感染性	11.87 (トン /月)
一般廃棄物	
可燃ごみ	847.85 (トン /月)
合計	1,541.59 (トン /月)

燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置(連続測定記録)

	燃焼ガス温度	集じん器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度	熔融炉内の温度
測定位置	1,2号炉二次燃焼室	1,2号炉バグフィルター	1,2号炉煙道	二次燃焼室
測定結果が得られた年月日	別紙	別紙	別紙	別紙
測定結果	別紙	別紙	別紙	別紙

※別紙は事務所内に保管。

ばいじんの除去をおこなった年月日

10月3日	10月19日	10月21日	10月24日	10月25日
-------	--------	--------	--------	--------

煙突から排出される当該排ガスの分析の実施状況と措置

	ダイオキシン類濃度	硫酸酸化物	ばいじん	塩化水素	窒素酸化物
排ガス採取位置	-				
排ガスの採取日	-	-	-	-	-
測定結果が得られた年月日	-	-	-	-	-
測定結果	-	-	-	-	-
排ガス採取位置	-				
排ガスの採取日	-	-	-	-	-
測定結果が得られた年月日	-	-	-	-	-
測定結果	-	-	-	-	-

※ ND: 定量下限値未満

※ ○煙突から排出される排ガス中のダイオキシン類の濃度測定・・・毎年1回以上

○ばい煙量又はばい煙濃度(硫酸酸化物、ばいじん、塩化水素および窒素酸化物に係るものに限る)を6月に1回以上測定

中間処理施設からの廃棄物(処理委託分)

種類	委託先	処理方法	数量(t)
ばいじん(飛灰)	(株)九州産廃処理センター	安定化	12.56

熔融スラグ発生量

数量(t)
0

[法15条の2の3]

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿[焼却施設](平成28年11月度)

対象期間:平成28年 11月 1日～平成28年11月 30日

焼却した産業廃棄物の種類及び数量

種類	数量(単位)
産業廃棄物	
燃えがら	25.35 (トン /月)
汚泥(有機性)	153.53 (トン /月)
廃油	48.50 (トン /月)
廃プラスチック(軟質系)	538.03 (トン /月)
廃プラスチック(硬質系)	0.72 (トン /月)
汚れ廃プラスチック	33.41 (トン /月)
廃発泡スチロール	0.17 (トン /月)
紙くず	15.28 (トン /月)
木くず	58.49 (トン /月)
繊維くず	79.59 (トン /月)
動植物性残渣	24.65 (トン /月)
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	19.16 (トン /月)
廃酸	0.39 (トン /月)
特別管理産業廃棄物	
感染性	11.79 (トン /月)
一般廃棄物	
可燃ごみ	795.48 (トン /月)
合計	1,804.54 (トン /月)

燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置(連続測定記録)

	燃焼ガス温度	集じん器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度	溶融炉内の温度
測定位置	1,2号炉二次燃焼室	1,2号炉バグフィルター	1,2号炉煙道	二次燃焼室
測定結果が得られた年月日	別紙	別紙	別紙	別紙
測定結果	別紙	別紙	別紙	別紙

※別紙は事務所内に保管。

ばいじんの除去をおこなった年月日

-	-	-	-	-
---	---	---	---	---

煙突から排出される当該排ガスの分析の実施状況と措置

	ダイオキシン類濃度	硫黄酸化物	ばいじん	塩化水素	窒素酸化物
排ガス採取位置	2号炉煙道				
排ガスの採取日	11月11日	11月11日	11月11日	11月11日	11月11日
測定結果が得られた年月日	12月16日	12月16日	12月16日	12月16日	12月16日
測定結果	0.0056ng-TEQ/m ³ N	ND	ND	9ppm	80ppm
排ガス採取位置	-				
排ガスの採取日	-	-	-	-	-
測定結果が得られた年月日	-	-	-	-	-
測定結果	-	-	-	-	-

※ ND: 定量下限値未満

※ ○煙突から排出される排ガス中のダイオキシン類の濃度測定・・・毎年1回以上

○ばい煙量又はばい煙濃度(硫黄酸化物、ばいじん、塩化水素および窒素酸化物に係るものに限る)を6月に1回以上測定

中間処理施設からの廃棄物(処理委託分)

種類	委託先	処理方法	数量(t)
ばいじん(飛灰)	(株)九州産廃処理センター	安定化	75.89
ばいじん(飛灰)	三池製錬(株)	山元還元	2.73

溶融スラグ発生量

数量(t)
214.77

[法15条の2の3]

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿[焼却施設](平成28年12月度)

対象期間:平成28年 12月 1日～平成28年12月 31日

焼却した産業廃棄物の種類及び数量

種類	数量(単位)
産業廃棄物	
燃えがら	29.88 (トン /月)
汚泥(有機性)	152.78 (トン /月)
廃油	95.00 (トン /月)
廃プラスチック(軟質系)	599.30 (トン /月)
廃プラスチック(硬質系)	0.94 (トン /月)
汚れ廃プラスチック	53.87 (トン /月)
廃発泡スチロール	2.54 (トン /月)
紙くず	21.85 (トン /月)
木くず	80.32 (トン /月)
繊維くず	66.47 (トン /月)
動植物性残渣	20.22 (トン /月)
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	6.69 (トン /月)
廃酸	0.44 (トン /月)
特別管理産業廃棄物	
感染性	11.36 (トン /月)
一般廃棄物	
可燃ごみ	892.59 (トン /月)
合計	2,034.25 (トン /月)

燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置(連続測定記録)

	燃焼ガス温度	集じん器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度	溶融炉内の温度
測定位置	1,2号炉二次燃焼室	1,2号炉バグフィルター	1,2号炉煙道	二次燃焼室
測定結果が得られた年月日	別紙	別紙	別紙	別紙
測定結果	別紙	別紙	別紙	別紙

※別紙は事務所内に保管。

ばいじんの除去をおこなった年月日

12月22日	-	-	-	-
--------	---	---	---	---

煙突から排出される当該排ガスの分析の実施状況と措置

	ダイオキシン類濃度	硫酸酸化物	ばいじん	塩化水素	窒素酸化物
排ガス採取位置	1号炉煙道				
排ガスの採取日	12月15日	12月15日	12月15日	12月15日	12月15日
測定結果が得られた年月日	1月11日	1月11日	1月11日	1月11日	1月11日
測定結果	0.00026ng-TEQ/m ³ N	11ppm	ND	7ppm	62ppm
排ガス採取位置	-				
排ガスの採取日	-	-	-	-	-
測定結果が得られた年月日	-	-	-	-	-
測定結果	-	-	-	-	-

※ ND: 定量下限値未満

※ ○煙突から排出される排ガス中のダイオキシン類の濃度測定・・・毎年1回以上

○ばい煙量又はばい煙濃度(硫酸酸化物、ばいじん、塩化水素および窒素酸化物に係るものに限る)を6月に1回以上測定

中間処理施設からの廃棄物(処理委託分)

種類	委託先	処理方法	数量(t)
ばいじん(飛灰)	(株)九州産廃処理センター	安定化	84.87
ばいじん(飛灰)	三池製錬(株)	山元還元	10.90

溶融スラグ発生量

数量(t)
181.17

[法15条の2の3]

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿[焼却施設](平成29年1月度)

対象期間:平成29年 1月 1日～平成29年1月 31日

焼却した産業廃棄物の種類及び数量

種類	数量(単位)
産業廃棄物	
燃えがら	38.71 (トン /月)
汚泥(有機性)	109.11 (トン /月)
廃油	53.55 (トン /月)
廃プラスチック(軟質系)	455.51 (トン /月)
廃プラスチック(硬質系)	0.57 (トン /月)
汚れ廃プラスチック	46.35 (トン /月)
廃発泡スチロール	0.42 (トン /月)
紙くず	3.81 (トン /月)
木くず	89.61 (トン /月)
繊維くず	28.77 (トン /月)
動植物性残渣	17.41 (トン /月)
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	0.21 (トン /月)
廃酸	0.38 (トン /月)
特別管理産業廃棄物	
感染性	11.88 (トン /月)
一般廃棄物	
可燃ごみ	846.73 (トン /月)
合計	1,703.02 (トン /月)

燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置(連続測定記録)

	燃焼ガス温度	集じん器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度	熔融炉内の温度
測定位置	1,2号炉二次燃焼室	1,2号炉バグフィルター	1,2号炉煙道	二次燃焼室
測定結果が得られた年月日	別紙	別紙	別紙	別紙
測定結果	別紙	別紙	別紙	別紙

※別紙は事務所内に保管。

ばいじんの除去をおこなった年月日

1月16日	1月18日	-	-	-
-------	-------	---	---	---

煙突から排出される当該排ガスの分析の実施状況と措置

	ダイオキシン類濃度	硫酸酸化物	ばいじん	塩化水素	窒素酸化物
排ガス採取位置	2号炉煙道				
排ガスの採取日	-	1月25日	1月25日	1月25日	1月25日
測定結果が得られた年月日	-	2月10日	2月10日	2月10日	2月10日
測定結果	-	ND	ND	10ppm	65ppm
排ガス採取位置	-				
排ガスの採取日	-	-	-	-	-
測定結果が得られた年月日	-	-	-	-	-
測定結果	-	-	-	-	-

※ ND: 定量下限値未満

※ ○煙突から排出される排ガス中のダイオキシン類の濃度測定・・・毎年1回以上

○ばい煙量又はばい煙濃度(硫酸酸化物、ばいじん、塩化水素および窒素酸化物に係るものに限る)を6月に1回以上測定

中間処理施設からの廃棄物(処理委託分)

種類	委託先	処理方法	数量(t)
ばいじん(飛灰)	(株)九州産廃処理センター	安定化	39.20
ばいじん(飛灰)	三池製錬(株)	山元還元	13.38

熔融スラグ発生量

数量(t)
150.5

[法15条の2の3]

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿[焼却施設](平成29年2月度)

対象期間:平成29年 2月 1日～平成29年2月 28日

焼却した産業廃棄物の種類及び数量

種類	数量(単位)
産業廃棄物	
燃えがら	59.13 (トン /月)
汚泥(有機性)	103.91 (トン /月)
廃油	42.81 (トン /月)
廃プラスチック(軟質系)	558.70 (トン /月)
廃プラスチック(硬質系)	0.86 (トン /月)
汚れ廃プラスチック	42.07 (トン /月)
廃発泡スチロール	0.71 (トン /月)
紙くず	10.37 (トン /月)
木くず	71.58 (トン /月)
繊維くず	44.90 (トン /月)
動植物性残渣	16.24 (トン /月)
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	0.06 (トン /月)
廃酸	0.47 (トン /月)
特別管理産業廃棄物	
感染性	11.99 (トン /月)
一般廃棄物	
可燃ごみ	706.10 (トン /月)
合計	1,669.90 (トン /月)

燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置(連続測定記録)

	燃焼ガス温度	集じん器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度	熔融炉内の温度
測定位置	1,2号炉二次燃焼室	1,2号炉バグフィルター	1,2号炉煙道	二次燃焼室
測定結果が得られた年月日	別紙	別紙	別紙	別紙
測定結果	別紙	別紙	別紙	別紙

※別紙は事務所内に保管。

ばいじんの除去をおこなった年月日

2月2日	2月21日	-	-	-

煙突から排出される当該排ガスの分析の実施状況と措置

	ダイオキシン類濃度	硫酸酸化物	ばいじん	塩化水素	窒素酸化物
排ガス採取位置	1号炉煙道				
排ガスの採取日	-	2月16日	2月16日	2月16日	2月16日
測定結果が得られた年月日	-	3月10日	3月10日	3月10日	3月10日
測定結果	-	34ppm	ND	9ppm	62ppm
排ガス採取位置	-				
排ガスの採取日	-	-	-	-	-
測定結果が得られた年月日	-	-	-	-	-
測定結果	-	-	-	-	-

※ ND: 定量下限値未満

※ ○煙突から排出される排ガス中のダイオキシン類の濃度測定・・・毎年1回以上

○ばい煙量又はばい煙濃度(硫酸酸化物、ばいじん、塩化水素および窒素酸化物に係るものに限る)を6月に1回以上測定

中間処理施設からの廃棄物(処理委託分)

種類	委託先	処理方法	数量(t)
ばいじん(飛灰)	(株)九州産廃処理センター	安定化	61.86
ばいじん(飛灰)	三池製錬(株)	山元還元	13.34

熔融スラグ発生量

数量(t)
129.33

[法15条の2の3]

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿[焼却施設](平成29年3月度)

対象期間:平成29年 3月 1日～平成29年3月 31日

焼却した産業廃棄物の種類及び数量

種類	数量(単位)
産業廃棄物	
燃えがら	23.94 (トン /月)
汚泥(有機性)	202.81 (トン /月)
廃油	63.87 (トン /月)
廃プラスチック(軟質系)	555.82 (トン /月)
廃プラスチック(硬質系)	0.39 (トン /月)
汚れ廃プラスチック	50.95 (トン /月)
廃発泡スチロール	0.02 (トン /月)
紙くず	18.61 (トン /月)
木くず	100.92 (トン /月)
繊維くず	46.79 (トン /月)
動植物性残渣	19.09 (トン /月)
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	6.31 (トン /月)
廃酸	0.31 (トン /月)
特別管理産業廃棄物	
感染性	12.67 (トン /月)
一般廃棄物	
可燃ごみ	817.89 (トン /月)
合計	1,920.39 (トン /月)

燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置(連続測定記録)

	燃焼ガス温度	集じん器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度	熔融炉内の温度
測定位置	1.2号炉二次燃焼室	1.2号炉バグフィルター	1.2号炉煙道	二次燃焼室
測定結果が得られた年月日	別紙	別紙	別紙	別紙
測定結果	別紙	別紙	別紙	別紙

※別紙は事務所内に保管。

ばいじんの除去をおこなった年月日

3月6日	3月31日	-	-	-

煙突から排出される当該排ガスの分析の実施状況と措置

	ダイオキシン類濃度	硫酸酸化物	ばいじん	塩化水素	窒素酸化物
排ガス採取位置	-				
排ガスの採取日	-	-	-	-	-
測定結果が得られた年月日	-	-	-	-	-
測定結果	-	-	-	-	-
排ガス採取位置	-				
排ガスの採取日	-	-	-	-	-
測定結果が得られた年月日	-	-	-	-	-
測定結果	-	-	-	-	-

※ ND: 定量下限値未満

※ ○煙突から排出される排ガス中のダイオキシン類の濃度測定・・・毎年1回以上

○ばい煙量又はばい煙濃度(硫酸酸化物、ばいじん、塩化水素および窒素酸化物に係るものに限る)を6月に1回以上測定

中間処理施設からの廃棄物(処理委託分)

種類	委託先	処理方法	数量(t)
ばいじん(飛灰)	(株)九州産廃処理センター	安定化	101.38
ばいじん(飛灰)	三池製錬(株)	山元還元	13.16

熔融スラグ発生量

数量(t)
202.1